



## 諸感覚で焼き芋を楽しむ

園長 立石 晃子

園門の柿や桜の木の葉がだんだんと散り始め、冬の足音が聞こえるようになってきました。

今年の幼稚園は秋を満喫しました。遠足、地域の散歩に出掛け、たくさんの秋を探しました。木々の変化を見たり、葉やどんぐりなどの実を採集したり、園内ではサツマイモやみかんを収穫したりしました。みかんはなんと120個もできました。大豊作でした。

そして、晩秋の幼稚園の行事と言えばみんなが楽しみにしている焼き芋会です。今年も11月18日(火)に行いました。荒川区立幼稚園で唯一行っている園行事です。この日のために用務主事の方々は一年をかけて薪を確保し、前日にかまどをつくり、当日は朝から火の番を行ってくださいました。子供たちが保護者と登園すると、「見て!」「燃えているね」と見つけて笑顔がこぼれ、期待が膨らむ様子が見られました。

焼き芋会を行うにあたり、教員は様々な感覚で焼き芋を感じ取る場面をつくっていきました。焚火や陽炎のゆらめきや薪が炭になっていく様子を見たり、炎や焼けたばかり芋の熱さを頬や手で感じたり、薪が焼けてはじける音を聞いたり、煙が甘い匂いへと変化していく匂いを嗅いだり、おいしい味覚を味わったりしました。子供たちは「(薪が燃える)パチパチ音がする」「(細かい灰が上がっていく様子を見て)白いのは何?」「(陽炎を見て)透明なゆらゆらがある」「(炭を見て)木の中に火が残っている」「(煙の匂いが)おいもの匂いになってきた」と焼きあがるまでの1時間を様々な感覚を使い感じ取りながら楽しみに待ちました。焼きあがったお芋を見て「こっちのほうが大きい」と比べたり、「熱すぎて持てない!」と言いながらも頬張ったりする子供たちの様子がありました。



幼稚園教育要領 感性と表現に関する領域「表現」の内容に「(1)生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり感じたりして楽しむ。」があります。解説には、「幼児は、生活の中で様々なものから刺激を受け、敏感に反応し、諸感覚を働かせてそのものを素朴に受け止め、気付いて楽しんだり、その中にある面白さや不思議さなどを感じて楽しんだりする。そして、このような体験を繰り返す中で、気付いたり感じたりする感覚が磨かれ、豊かな感性が養われていく。」とあります。気付いたり感じたりする感覚はものの見方・感じ方となり、養われた感性は、好奇心、探究心、思考力につながっていきます。

年末年始、ご家庭でも様々な出来事に諸感覚で味わう経験を楽しんでみていただけるとありがたいです。

## 楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

### < 3 歳もも組 >

「赤い葉っぱあったよ！」「黄色いよ、きれい！」「心動かす発見いっぱい！

子供だけで行く初めての足立生物園への遠足では、様々な生き物を見て、「うわーすごい！」「なにあれ！おもしろいね」とヘビの舌が2つに分かれていることや、亀がスイスイ泳いでいること、下から見るお魚のお腹など、じっくり見ていました。そして、園外に散歩に出かけると、赤や黄色のきれいな葉っぱに「うわーきれい！」と感動したり、「なんだろうこれ？ふわふわしてる！」と苔の様子に驚いてみんなが触ってみたり、「なんかこの葉っぱいい匂いがする」といろいろな葉っぱの匂いを嗅いだり...焼き芋会では薪が燃える音やにおいをたっぷり感じ、秋の味覚も楽しみました。11月は、諸感覚をたくさん使って、子供たちなりにたくさんの発見や経験をすることができました。ここから冬、年末、とまたこの時期ならではの变化や行事などがたくさんあります。年少児なりに意味が分かったり、変化を感じたりできるよう一緒に心を動かしていきます。

### < 4 歳たんぼ組 >

焼き芋会で焚火を経験！泥山削りにみんなわくわく！

先日の焼き芋会では、秋らしい寒さを感じる中、焚火を見て、「オレンジの火」「ゆげみたいな透明がある」「パチパチしてる」「ちょっと焦げ臭い」「あったかい」と感じたことを話したり、先日の汐入文化祭で披露した「たきび」を思い出し、みんなで本物の焚火を囲んで歌ったりしました。出来上がったお芋はじんわりと温かく、体も心も温まる焼き芋会になりました。

好きな遊びでは、硬くなった泥山を削る遊びに夢中です。毎日少しずつ削って形が変わってきた泥山です。最近、洞穴のようになった穴を奥へ奥へと掘り進めることを楽しんでいます。他の学年の友達も泥山で遊ぶため、前に自分たちが遊んだときと穴の様子が変わっていることも面白いと感じながら遊んでいるたんぼ組です。終業式までにこの洞穴がどうなるのか楽しみです。

12月は年末やお正月に向けた活動があります。様々な活動に取り組む中で、その意味に触れたり、友達との繋がりを感じたりできるよう援助していきます。

### < 5 歳ばら組 >

話し合いを大切に！お友達ってこんな素敵なアイデアがあるんだね！！

11月は、幼稚園全体が『秋』になり子供たちの会話から「葉っぱがオレンジになってきたね」「もうあの柿おいしそうだね」などと季節を感じる言葉が聞こえてきました。過ごしやすい秋ももう終わりに近付き間もなく『冬』になりますね。四季の変化も子供たちと味わっていきたいです。ばら組は劇モードになり、『ばらぐみかいぎ』でどんな劇をしようか相談から始めました。「もも組のときは、お風呂だったね」「たんぼ組のときは、ねこのお医者さんやったよね」...絵本の部屋に行き本をみんなで探して読んでみたり、「こんなお話はどうか？」と素話を聞いたりして、「それにしよう！」と今年の劇が決まりました！！みんなで作り上げる一体感や、学級のつながりがより感じられるようにしていきます。また、共通の目的に向かって役割を意識し、力を合わせることで達成感や充実感が味わえるよう援助します。

そして、12月は、年末ならではの行事やこの時期にしか経験できないことなど、年長なりに意味を知り、存分に楽しんでいきます。